

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2016年 5月 19日

No.15

夏季手当交渉スタート！

基準内賃金の2.6ヵ月プラス5万円要求！

～昨年度計画を上回る黒字決算還元として組合員一律5万円支給せよ～

回答指定日 6月17日 支払日 7月8日

中央本部は、本日10時00分より2016年度夏季手当の申し入れを行いました。申し入れにあたり中央本部は①貨物労組は夏季手当2.6ヵ月プラス黒字決算に対する還元として組合員一律5万円支給を要求する。②期末手当は我々にとって生活給であり、17年連続バアゼロで可処分所得も年々減少している中、期末手当で穴埋めして生活している。③一方で会社は、期末手当を業績給としているが、平成27年度決算は好成績を計上している。これは組合員の努力の賜である。④プラス5万円の意味は黒字還元で組合員に見える形で示した。⑤今年度は正念場である。鉄道事業部門の黒字化達成とJR発足30年を前に鉄道貨物輸送の将来を明確にするための重要な年である。目標達成のために組合員のやる気が出るよう夏季手当は満額回答で応えること。⑥この間の組合員の努力に報いるべく、会社は貨物労組の要求を真摯に受け止め誠意ある回答を示すことを主張しました。

これに対して会社は、①平成27年度決算は、好決算であり社員の努力に感謝申し上げる。今後交渉を重ねながら真摯に対応していく。②昨年度は、景気変動もあって下半期の収入が減少し、収入計画は未達だった。③今年度に入っても景気動向は変わっておらず、景気低迷の不安要因を抱えている。その中でも収入を確保して鉄道事業部門の黒字化をめざしていく。④今年度に入り4月の収入は計画を達成したが5月は下回っている。世界・国内の景気動向を注視しつつ、月次収支を分析しながら対策を打ち出していく。⑤貨物労組の申し入れ趣旨はしっかりと受け止め、今後交渉を積み上げていきたい。と現段階における考え方を明らかにしました。

中央本部は、①多少の景気変動があっても安定した収入を出すために担ってきており、我々は会社が立てた計画に対して応えてきた自負がある。②収入計画は達成しなかったが、鉄道事業部門は対計画6億円改善した。このことは収入未達をコスト削減で乗り切ったと言わざるを得ない。③この3年間は生活給1.5ヵ月を下回っている。好成績の裏には組合員のガマンと犠牲がある。だからこそ我々は、今夏季手当を正々堂々と要求する。景気動向も分かるが今までの苦勞に会社は応えるべきである。④昨年度決算の好成績の勢いを維持するとともに、組合員の士気を高めるためにも今手当で組合員に還元すべきことを通告し、第1回交渉を終了しました。

組合員の皆さん！本日より夏季手当交渉がスタートしました。中央本部はこの間の組合員の努力に報いるために全力で交渉していくことを決意して第1回交渉報告とします。

以上

次回、第2回交渉は5月25日（水）です。